

資料：大阪府・大阪市「大阪 IR 基本構想」(2019 年 2 月)

2019 年 2 月
大阪府・大阪市

大阪 IR 基本構想 (案) 【概要版】

大阪の現状と取組みの方向性

大阪のさらなる成長のために

◆現状・課題

人口減少、高齢化社会が進むなか、需要・労働力の減少による経済縮小への懸念

◆取組みの方向性

今後世界の観光需要が拡大するなか、インバウンドを確実に経済成長に取り込むため、滞在型観光の推進や世界水準の MICE 施設の整備が必要

大阪・関西のポテンシャルを最大限活用

歴史的・文化的特性	大阪や関西の豊富な観光資源が集積
経済的特性	大阪、関西の大きな人口・経済規模、幅広い分野の産業クラスターの集積
地理的・立地的特性	関西の中心に立地、充実した交通インフラを活用したハブ機能

※ポテンシャルの高い「IR」立地を出発点として、バリエーションを活性化

大阪に「IR」を核とした国際観光拠点を形成

民間の知恵と工夫を最大限に活かす「IR」プロジェクトとしての「IR」

大阪 IR のめざす姿

基本コンセプト

大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型 IR

- 世界中から人・モノ・投資を呼び込み、経済成長のエンジンにするため、ビジネス客、ファミリー層など世界の幅広い層をターゲットとする「世界最高水準」の IR
- 50年・100年を見据え、初期投資だけでなく、常に時代の変化に対応する施設・機能とサービスで変化を遂げる「成長型」の IR

◆成長の方向性

時間軸に沿った成長・発展

空間軸に沿った成長・波及

ひるがり、つなぐ、つなぐ、つなぐ

夢と未来を創造する「IR」

「夢洲」を「IR」

ポテンシャルを活かした価値創造

大阪 IR の想定事業モデル

(数値は概算)

- 敷地面積：約60ha
- 投資総額：9,300億円
- 施設規模：総延床面積 100万㎡
- 年間来場者数：1,500万人/年
- 年間売上：2,480億円/年 (うちノンゲームギンギン施設：1,890万円/年、ゲームギンギン施設：590万円/年)
- 年間売上：4,800億円/年 (うちノンゲームギンギン施設：1,000億円/年、ゲームギンギン施設：3,800億円/年)

＜大阪・関西の持続的な成長に向けて＞

- 行政・地域・IR事業者による協働体制の構築
- 施設・サービスの魅力向上に向けた継続的な投資による好循環の実現

大阪 IR のめざす姿

大阪 IR が有すべき機能・施設

①世界水準のオールインワンMICE拠点の形成＜国際会議場施設及び展示等施設＞

- 世界水準の競争力を備えたオールインワンMICE拠点
 - MICEに誘致に必要な宿泊施設、エンターテインメント・商業施設等を一体的に整備
- 日本最大の複合MICE施設の整備
 - 国際最大会議室収容規模、容人数6千人以上、1万2千人規模の会議に対応
 - 展示施設：10万㎡以上の展示面積

◆オール大阪でのMICE推進・誘致体制の強化

②魅力の創造・発信拠点を形成＜魅力増進施設＞

- 大阪・関西・日本が誇る魅力を効率的な手法で発信
 - 伝統、文化、芸術等のコンテンツに気軽に触れられる施設を整備し、コンテンツに還元した手法で発信

◆大阪 IR 発、大阪・関西・日本のコンテンツの発展・創造

③日本観光のゲートウェイの形成＜送客施設＞

- 大阪・関西・西日本をはじめ、日本各地との連携による観光客の送り出し
- 大阪・関西の強みを活かした、大阪 IR 発のニューツーリズムの創出
 - 「多様で心身ともに健康な生き方」を提案するウェルネスツーリズムをはじめ、スポーツ、フードなどのニューツーリズムを創出

④利用者の需要の高度化・多様化に対応した宿泊施設の整備＜宿泊施設＞

- 世界水準の規模と質を有する宿泊施設の整備【規模】客室数3千室以上
- ビジネス客やファミリー層、富裕層など多様な宿泊ニーズに対応できる施設・サービスの提供

⑤オンリーワンのエンターテインメント拠点、リゾート空間の創出＜娯楽及び滞在型施設＞

- 夢洲でしか体験できないエンターテインメントの提供
 - あらゆる人が楽しめる、大阪 IR の象徴となるような世界に類を見ないエンターテインメントを提供
- 世界中の人が訪れなくなる非日常を感じられる都市型のリゾート空間
 - 長期滞在を奨励する上質な施設・サービスの提供
- 大阪の新たなランドマークとなるインバウンドのある空間の形成
 - 新設なデザイン・建築物や海に囲まれた広大な土地を活かしたゆとりある空間

大阪 IR の魅力を高める取組み

- 最先端技術の活用により、快適で利便性の高い空間、質の高いサービスを提供するスマートなまちづくりを実現
 - 「未来社会の実験場」として最先端技術の実験・検証、体験の場を創出
- 次世代を担うグローバルな人材の育成

安心して滞在できるまちの実現

- 夢洲における別荘地の設置をはじめ、IR事業者や関係機関と連携しながらソフト対策・ハード対策に取り組む、来訪者が安心して滞在できるまちを実現